

版立体図像展  
3D image exhibition

KUNST ARZT では、須崎喜也の個展「版立体図像展」を開催します。須崎喜也は、木版画の立体化を実践、探究するアーティストです。版画技法の中でも極めてアナログな制作行為が映し出される「木版画」が、まるで2次元から飛び出してきたかのように、違和感無く立体化されます。紙も用いますが、主にシリコンを用い、また、ただの立体化ではなく、商品として“フィギュア”化する見せ方も含めて、高いレベルのオリジナリティーを獲得しています。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



JHON 2019 紙、インク

経歴

1987年 愛知県生まれ  
2013年 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程芸術専攻版画領域 卒業

個展

2019年 『HANGA 立つ』 yuge 京都

グループ展

2019年 『オル★テラ』 妙善寺 東京  
2020年 『OBJECT at VOU』 VOU 京都

2020年10月13日(火) から18日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

< 展覧会コンセプト >

私は版画技法を用いた立体作品を制作している。

興味のあるカルチャーなどから気になった事柄をテーマにしたり、  
頭の中で別の文化と組み合わせたりすることで現れた形を図像化する。



文身  
2019  
シリコン、インク



山という字  
2019  
シリコン、インク

